

タマゴタケモドキ *Amanita subjunquillea*

テングタケ科テングタケ属

概要

| | |
|-------------|--|
| 地方名 | |
| 傘の大きさ | 小型から中型 |
| 形と色 | 傘：表面はなめらかな橙黄色で、条線はない。 ひだ：白色でやや密 柄：細長く中空。つばはない。 |
| 発生時期 | 夏から秋 |
| 発生場所 | 針葉樹林や広葉樹林などの地上に発生する。 |
| その他 | |
| 症状 | タマゴテングタケ様の中毒症状を示す。 食後 6 時間から 24 時間程度でコレラ様の下痢、嘔吐、腹痛、数日後から肝臓肥大、黄疸、胃や腸からの出血、その他、内臓細胞破壊が起こり死に至る場合がある。 |
| 毒性成分 | アマトキシン類ほか |
| 間違えやすい食用きのこ | キタマゴタケ（ひだが黄色であることから区別する） |

詳細**1 特徴**

| | |
|------------|---|
| (1) 毒性成分 | (成分名) アマトキシン類 |
| | (構造式) |
| | (説明) |
| (2) 食中毒の型 | |
| | (毒性成分の含量) |
| | (毒性発現機構) |
| (3) 中毒症状*1 | タマゴテングタケ様の中毐症状を示す。 食後 6 時間から 24 時間程度でコレラ様の下痢, 嘔吐, 腹痛, 数日後から肝臓肥大, 黄胆, 胃や腸からの出血, その他, 内臓細胞破壊が起こり死に至る場合がある。 |
| (4) 発症時間 | |
| (5) 発症事例 | (症例 1) |
| | (症例 2) |
| | (その他) |
| (6) 中毒対策 | |

2 毒性成分の分析法

| | |
|-----|------|
| (1) | (説明) |
| | (図解) |

3 その他

| | |
|---------|--|
| 諸外国での状況 | |
| 参考になる情報 | |

4 間違えやすい食用きのこ

| | | |
|---|------|-----------------------|
| 1 | 一般名 | キタマゴタケ |
| | 学名 | |
| | 発生場所 | |
| | 発生時期 | |
| | 形態 | ヒダが黄色を帶び, 傘のふちに条線がある。 |

引用・参考文献

1) その他の参考資料 :

長沢栄史. 「フィールドベスト図鑑 14 日本の毒きのこ」(株) 学習研究社

編著者 : 奥沢康正, 久世幸吾, 奥沢淳治. 「毒きのこ今昔—中毒症例を中心にして—」(株) 思文閣出版